

CJM REPORTER

カナディアン ジャパニーズ ミニストリー (CJM) 2011年春号

金城ノリ

参加者が580人の祈禱会を想像できますか？今年の3月27日に行われたトロント日系福音教会での祈禱会ではそれが現実のものとなりました。トロントにある中国系福音派教会が1つとなって、被災地日本のために祈ろうと呼びかけた結果です。

なるイエスキリストです。物質的な援助をしていくことももちろん大切ですが、キリストにある真の希望を、絶望のどん底にいる日本人の人たちが見出すように援助することは、私たちのもっとも大切な務めです。日本は、今までになく祈りを必要としています。

CJMはこの東日本大震災後まもなく災害チャプレンシーのチームとして奉仕する計画が立ち上がりましたが、諸事情により予定通りに事は運びませんでした。しかし神

580人が集った祈り会



撮影:ロイ・サカグチさん

様は、カルガリーの福音宣教団体がこのビジョンを共有し、継続していくことができるように計らって下さいました。当初CRASHのもと6人が日本に行く予定でしたが、書類上の理由でそれは実現しませんでした。しかし、4月28日にマーク・マクロイド氏とブライアン・ギルロイ氏が日本に発ちました。ブライアン師は日本で1ヶ月間奉仕した後帰国し、ローカル紙のインタビューに次のように答えています。「津波の打撃は私の予想をはるかに上回るものでした。ショックです。そこら中遺体だらけであったという話も聞きました。」マーク・マクロイド氏は、現在もまだ日本に滞在して奉仕にあたっており、10月に帰国する予定です。引き続きマーク氏のため、また日本の復興と魂の救いのためにお祈りください。＊

この580という数字を聞いたとき、18世紀の偉大な伝道者D. L. ムーディーが、「どうしてあなたのミニストリーには力があるのですか。」と聞かれたときに「それは500人以上の人が今地下室で祈ってくれているからです。」と答えたその言葉を思い出しました。

この祈禱会は、戦後中国と日本の間にあった悪感情を乗り越えて、主にある兄弟姉妹が日本を赦し、そして危機的状況の中にある日本に対し助けの手を差し伸べてくれたという点でも、とても意味深いものとなりました。多くの中国人は、日本が1930年から40年にかけての日中戦争時に犯した、残酷、冷酷な行為に対する傷と憎しみを抱いたままです。聖霊によって新たにされた私たちクリスチャンは、傷や憎しみ、また罪悪感や恥といったものから解放されて、主にある兄弟姉妹として、赦しあい、抱擁することができるのはなんと喜ぶでしょう！今の日本に必要なものは、他の何者でもなく、聖霊



レスブリッジ日系クリスチャンフェローシップ

場所：1614-5th Ave. South, Lethbridge, AB
(First Baptist Church にて)

日曜礼拝：午後2時より 牧師：秋山賢

電話：403-317-1987 Eメール：sakiyama@telus.net



秋山賢牧師 真理夫人
創平君 (11) 有紗ちゃん (9)

秋山賢牧師

(以下の文章は5月12、13日に行われたCJM総会に提出されたものからの抜粋です。)

私たちの教会は、引き続き「目的先行型教会」のモデルにならい、神様の永遠の計画に沿った教会作りに励んでいます。3月1日より私たちの教会の新年度がスタートしました。今年度のテーマ聖句は次のものです。

「互いに愛し合いなさい。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し

合いなさい。もし互いの間に愛があるなら、それによってあなたがたがわたしの弟子であることを、すべての人が知るようになります。ヨハネ13章34-35節」

そして私たちは聖書的な愛に満ちた交わりは次のようではなくてはならないと信じます。1) お互いを受け入れる。2) お互いを信用する。3) 愛に根ざして真理を語る。4) 本音で話す。5) 励ましあう。6) 支えあう。7) 赦しあう。

このことを今年度のテーマ聖句として歩みつつ、LJCFが進むべき道、神様の持っていらっしゃるこの教会への計画が、よりはっきりと示されるよう祈り続けています。

ロン・ダークス牧師夫妻が引き続きレスブリッジの英語礼拝を導いて下さっているのは、本当に感謝なことです。ロン牧師は私の霊的指導者です。レスブリッジが日本人家族だけでなく、国際結婚をしている家族にも届いて行けるよう共に祈っています。将来の英語ミニストリーのために神様の導きを求めています。

4月24日のイースター特別礼拝では3人の方が洗礼を受けました。神様が引き続き求道者や若い家族を日曜礼拝へ送って下さっています。こちらに永住している20組の日本人家族と友好的な関係を保っています。日本人学生への伝道と、地域住民への伝道とをバランスよくしていくことが出来るようにというのも、現在のお祈りの課題です。

みなさんのお祈りと支援に心から感謝します。*

献金

秋山牧師ミニストリーのサポート、また一般会計への献金は、下記にお送り下さい。

LARRY IWAMATO

2900 Warden Ave.,

PO.Box 92124

Scarborough, ON M1W 2S0

Tel.: 905-471-2184

Email: lkiwamoto@rogers.com

CJMの 新任会計係り



岩本ラリーさん、ケリー夫人

岩本ラリー

ラリーさんは、トロントで生まれトロント育ちました。1974年にトロント日系福音教会のキャンプに参加して感動の時を過ごし、その後に参加したリトリートでイエス様を救い主として受け入れました。その時から今までずっと福音教会に通い続けています。

ラリーさんは昔から福音教会の活発な会員で、ユースミニストリーのアシスタント、サンデースクールキャンプ、リトリートと、いろいろな面で奉仕して下さいました。

1992年に公認会計士となり、現在はパワーストリームに勤務しています。教会の会計係りとして長年奉仕され、現在は教会理事及び教会会計のVPとして奉仕を続けています。

薬剤師でショッパーズ・ドラッグマートに勤めるケリー・オハラさんと結婚され、2人の子供は現在オンタリオ州の大学に在学しています。

ラリーさん、CJMへようこそ！*

Grace Japanese Christian Church

場所：407 Cougar St., Banff, AB T1L 1B1 (Banff's Full Gospel Churchにて)

日曜礼拝：午前9時～10時

牧師：村仲あんな牧師

電話番号/ファックス：403-609-2388

Eメール：tokukomuranaka@hotmail.com



村仲あんな牧師

私達バンフの教会は10年前にGrace Japanese Christian Church という正式名でカナダ政府の認可を受けて、FGCの会堂を借りて礼拝を捧げています。ここバンフは観光地という事もあって人の出入りが頻繁で、1～2年の滞在中に教会に集った後、日本に帰った人は数えることが出来ません。しかし多くの主にある兄弟姉妹を日本ばかりでなくカナダの各地に送り出してきました。

誰でも教会に集えるようにと、当初からゴスペルタイムを設けて、イースターとクリスマスには聖歌隊を結成し、シニアホームと病院に慰問に行く活動をしてきました。そのような活動の中でイエス様を信じて救われ、今ではお母さんとなって集っている方もいます。他に夫婦生活に行き詰まり、教会に救いを求めて来られ、人生を再スタートする方等、互いに愛し慰め励まし合う教会に成長しています。

嬉しい事に、10年以上祈り続けてこられた方のご主人が、昨年11月、神様の一方的な哀れみによっ

て救われました。この方は奥さんが救われて以来、自分にはキリストの救いなど必要ないと拒み続けてきましたが、昨年、経済的危機と肉体の苦しみの中で、近くに住むクリスチャンの方に助けを求めて祈って貰った所、その祈りの中で苦しみから解放されて、イエス様が本当の神様だと分かったそうです。そして今年の1月に多くの方々の祝福の中で洗礼を受けられました。今では毎週の祈り会とゴスペルタイム、そして聖日礼拝に喜んで出席されています。今回はその時の写真を添付いたします。

CJMに加盟されている各教会の牧師先生とご家族、そして教会員の皆様の上に神様の豊かな祝福がありますように心からお祈りします。*



エドモントン日系キリスト教会

場所：Zion Baptist Community Church 電話：780-488-4168

9802—76th Ave. NW, Edmonton, AB T6E 1K5

日曜礼拝：午後2時より (バイリンガル)

www.telusplanet.net/public/jpc



Sue Shigemitsu

三月十一日に起こった東日本大震災がエドモントン日系キリスト教会の心に深く刻み込まれました。この災害により祈りの重要性を知らされました。

三月二十日に、教会では東日本大震災の為の特別礼拝を行われました。礼拝は、青年達の賛美チームが編成されリードし、神の忠実さについて賛美と共に被害者の為の祈りと黙祷でした。ツイートや、またニュースの情報の概要が朗読され、日本の貧困さを知らされました。ワーシップ・リーダーの中尾聖氏が『やすけさは川のごとくについて』の聖歌について「全ての信者は、地上でどんな苦痛や悲哀があったとしても永遠の希望を持っています。」と話し、

ゲスト・スピーカーのレッドシュラグ師が人生の嵐の時の「錨」のメッセージをしました。礼拝の最後にキャンドル・サービスとひと時の沈黙が持たれました。

その三月二十日の礼拝で強く印象に残り、また恵まれた事は、日本人でない色々な人種の方々が出席し、キリストの体として示された事です。この教会に、そして、被災の方々を愛し、同情して下さったその人々に神の恵みと祝福がありますように。*



東日本大震災の為の特別礼拝

バンクーバー日系福音教会

425-11th St., New Westminster, BC V3M 4G1

日曜礼拝 午前11時より (日本語/英語)

福迫徹也牧師 (日本語部) 604-517-4578 vjgc@telus.net

Website: www.japanesegospelchurch.com



福迫徹也

教会を建て上げる

昨年11月に私たちの教会で「献堂20周年記念礼拝」が持たれました。過去20年間の私たちの教会に対する主の祝福と良きみわざを心より感謝いたしました。

その際にVJGC VISION2020を宣言しました。ここに皆さんにお分かちさせていただき、主のご栄光が現され御国が前進するために共に祈っていただきたいと思います。

VJGC VISION 2020

1. 幼子からシニアまで神の家族の交わりを深め、広める
 - ・各会やスモールグループを増やし、充実する。
 - ・複数礼拝の実施と各会の交わり
 - ・英語礼拝の充実と英語グループの育成
 - ・日系ホーム礼拝と日系センターでのクリスマスやイースターの特別礼拝

2. 教会がキリストのからだとしてひとりひとりが各器官として成長する
 - ・短期、長期宣教師の派遣、ミッショントリップの実施
 - ・神学校、信徒聖書学校の開始: JTJサテライト校の開校
 - ・教会スタッフの充実と働き人の育成: 牧師、副牧師、

English Pastor, Children & Youth Pastor, 教育主事、音楽主事、セクレタリー

3. 教会の特色を生かして地域に仕える
 - ・VJGCプリスクール
 - ・VJGCシニア・サポート・グループ
 - ・VJGC日本語・英語学校
 - ・VJGC Mission Centre ダウンタウンを拠点として留学生、ワーホリへの伝道の拡大

最近、私たちの教会のホームページが新しくなりました。昨年の教会の活動をビデオで観ることができますのご覧下さい。

www.japanesegospelchurch.com

CJMのコミュニティーの一員として、私たちもCJMの諸教会を覚えて祈っております。主が諸教会と兄弟姉妹を祝福し、それぞれの教会を通して主のみこころがなされ、その働きが広がりますようにお祈りしております。

皆様の上に主の祝福がありますように *



JAPANESE GOSPEL Church of Toronto トロント日系福音教会

場所: 301 Silver Star Blvd., Scarborough, ON M1V 0B6

日曜礼拝: 午前11時より (日本語/英語)

教会電話番号: 416-335-JGCT(5428) FAX: 416-335-5932

Website: www.jgct.com

佐藤明男牧師 (日本語部) 416-495-1534

戎崎レイ牧師 (英語部) 905-597-5428

上田ケビン牧師 (ニュース部) 647-298-6422



佐藤明男牧師

2011年3月11日に東日本を襲った大震災は、マグネチュード9.0という我々の想定外の大きなものでした。この大きな揺れの後に、静かにそしてすばやく大きな津波が襲い、多くの人や家、車等が無残にも飲み込まれていってしまいました。その上、地震、津波による福島第一原子力発電所の放射能漏れの問題が起こり、現在も問題の収束の見通しが立っていません。多くの被災者の方は、避難所で不便な生活を余儀なくされています。

そのような事情をニュースで知り、2011年3月27日(日)午後7時30分よりトロント日系福音教会において、日本と中国の教会が一同に会して、日本のために合同祈り会が開かれました。580人以上の方が参加され、東日本大震災で被災された人々や現在復興のために尽力されている人々、福島原子力発電所で命をかけて修復の努力をされておられる人々のために、また日本の教会、クリスチャン、人々の救いのために祈りました。

中国の人々の中には、第二次世界戦時の日本軍による侵略による傷痕をいまだ持ち続けている人々もおられます。その中国の人々と日本人の間に和解がもたらされ、救い主イエス・キリストによって一致し、心をついて、今回の大惨事のために祈ることができました。

その祈り会の席上で集められた日本の復興支援のための義援金約21,000ドルは、OMF (Overseas Mission Fellowship) INTERNATIONALという宣教団体を通して、被災地で救援活動を既に行なっているOMF JAPANに送られました。

今回の津波で、岸壁に停泊して避難していた漁船は、陸上に打ち上げられてしまいました。しかし、沖にいて操業していた漁船はその被害を免れました。それは、その漁船が津波を見つけると、その波に直角に進んで行きその波の上に乗ることが出来たからでした。私たちも、置かれている場所で主の起される波をしっかりと見極めて、その波に乗っていくことこそが主イエスの御栄光を現していく道なのです。

大水のとどろきにまされ、海の力強い波にもまされ、いと高き所にいます主は、力強くあられます。

(詩篇94:3、新改訳) *



撮影: ロイ・サカグチさん

日中合同祈り会

ウィニペグ日系アライアンス教会

場所：549 Gertrude Ave. W., Winnipeg, MB R2L 0M9
(Trinity Baptist Churchにて)
日曜礼拝：午後2時より



ヤベキョウカさんの証し

神様のことを信じるようになるまで、私の生活は困難に直面してばかりいました。カナダでの最初の一年は本当に大変でした。これから、私がどのようにしてそれらを乗り越えたかを皆さんと分かち合いたいと思います。

小学生の時、私はバスケットボールのクラブに所属していましたが、そこでは誰もバスケットボールをせず、メンバーはビデオゲームをしたり、年下の子からお金を脅し取ったりしているだけでした。私はそれらのことが本当に嫌で、メンバーと行動を共にすることができず、クラブから離れました。

クラブを離れたある日、母が私を地元で行われたプロバスケットボールの試合観戦に連れて行ってくれたのですが、それがとても楽しく、以来私はホームゲームを欠かさず見に行くようになりました。数ヵ月後には私はチームのスタッフとすっかり親しくなり、ある日スポーツトレーナーのアシスタントとして試合に参加させてもらい、その試合で勝利を収めることができたのです。そしてその時、トレーナーが外国人選手と英語でコミュニケーションをとっている姿に惹きつけられました。そこで私も彼らのようになるために海外で勉強をすることを決心し、カナダへ来る道を選んだのです。

しかし、カナダへ来てもホストファミリーやその他の人々とうまくコミュニケーションをとることができず、結局私はいくつかのホストファミリーを転々とするようになりました。

4番目のホストファミリーにお世話になった時から、私は彼らと毎週日曜日に教会に通うようになりました。牧師先生の説教や聖歌、聖書を通して、私はイエス・キリストが私の罪のために死んでくださったことを学びました。ホストファミリーの方が毎日私に“神様はいつもあなたと共にいてくださる”と言ってくださいました。そして私はその日にあったことを神様に感謝し、祈るようになりました。お祈りを続けるようになってから、私の生活は次第に変わっていききました。

例えば、ウィニペグに来たばかりの頃はストレスで徐々に体調を崩していき、ウィニペグでの生活を楽しむことができませんでした。自殺を考えたこともあったのです。そんな時、私は学校で日本語の話せるカウンセラーの方と出会いました。彼女は私を病院やカウンセリングに連れて行ってくれたのです。神様はきっと私に助け人を与えてくださったのでしょう。彼女のおかげで私のストレスは徐々に薄らいでいきました。今ではたくさんの友達にも恵まれ、ストレスはなくなってきています。神様によって私は特別な人間とされました。なぜなら主イエス・キリストが私の罪のために死んでくださり、私が他の人々の役に立つように私の人生を生まれ変わらせてくださったからです。私は罪人ですが、イエス様を死から甦らせた力と同じ力が私の中にも働いています。御霊の力によって私はクリスチャンとなりました。

マタイの福音書7章7節は私の好きな聖書のみことばの一つです。“求めなさい。そうすれば与えられます。捜しなさい。そうすれば見つかります。たたきなさい。そうすれば開かれます。”私がこのみことばを好きな訳は、私が困難な問題を抱えている時、どのように解決すればよいのかを神様に祈り求めると、神様はいつもその祈りに応えてくださるからです。私が神様によりよい方法を示してくださいとお祈りすると、神様はいつも私を助けてくださいます。学校生活でストレスを抱えているとき、神様にストレスがなくなるよう、助けを祈り求めると、神様はいつも私を助けてくださる方をお与えになります。こんなことがありました。今学期、私はカナダの高校生が履修する英語のクラスを取りましたが、そのクラスは私にはとても難しかったのです。私は神様にどうしたらよいのかを祈りました。すると神様はスクールカウンセラーの方を通して、もっと簡単な英語のクラスがあることを私に示してくださいました。私は神様に感謝し、無事に新しい英語のクラスに移ることができました。

これからは日々神様に感謝をしながら生活していきたいと思います。そして神様に仕え、神様のことを多くの人に伝えていきたいと思います。これからも続けてお祈りいただければ幸いです。*

ウェスリーチャペル日本語教会

2385 Warden Ave., Scarborough, ON M1W 2L6
日曜礼拝午前11時より
吉田エドワード牧師 電話：416-261-4302
初瀬川宗敏牧師（日本語部）



吉田エドワード牧師

ウェスリーチャペルの二つの大きなイベントはピクニックサービスとクリスマスコンサートです。今年も12月5日にクリスマスコンサートが行われ、こどもと大人を合わせて総勢80人ほどが参加して下さいました。毎年、日本語を話さない方がたくさん参加されますので、サービスはバイリンガルで行われます。今年は子どもたちが素晴らしい劇をしてくれました。ローマ兵がイエスとその家族を探しにやってきたので、家族は洞窟に逃げましたがそこは寒く、少しでもイエス様を暖めるために、やさしい蜘蛛が蜘蛛の巣を張り巡らしました。そしてローマ兵はその洞窟にたどり着いたときに、蜘蛛の巣がはっていたので中には誰もいないだろうと思い素通りしてしまい、見つからないですんだという話です。初瀬川牧師のメッセージ、「初めのクリスマスに戻って」もとても良く組み合わされて、テーマにそった流れのある素晴らしいクリスマス会となりました。

コンサートの後は、和食も洋食も盛りだくさんのポットラック、デザートと、この素晴らしい食事と交わりの時間も、多くの人が

参加して下さった大切な要因のひとつでしょう。今年のサンタクロースは、マーク・ショルツに仮した、フダンと比べてとてもやさしい個性的なサンタクロースでした。参加者みなが楽しめるクリスマスを過ごせたことに感謝です。

私たちウェスリー日本語教会は、ウェスリーチャペルの一部として、毎年行われる宣教フォーカスにも参加しています。今年も2月に行われましたが、1年の間にウェスリー全体で9千ドルの約束献金がなされました。この約束献金は、私たちがサポートしている宣教師へ送られます。その宣教師の中には、レスブリッジの秋山聡宣教師や、ペルーでジャングルミッションをしているルカスみのり宣教師なども含まれています。この宣教フォーカスは各国の食べ物の紹介によって幕が閉じられます。日本を紹介されたテーブルには、着物や浴衣を着た女性や子どもたち、またはぱびを着た男性に囲まれて、いなり、巻き寿司、羊羹やその他の菓子類がずらりとならべられました。世界宣教へと目を向ける、素晴らしいイベントとなりました。*